

ドーンセンターにおける 情報ライブラリーの役割

ドーンセンター 情報ライブラリー コーディネータ 木下みゆき

日時：平成 18 年 8 月 22 日（水）13:30 受付 14:00 開演

会場：大阪府立大手前高等学校

1994 年 11 月、大阪府立女性総合センター〈ドーンセンター〉の女性関係情報専門ライブラリーとして開館。男女共同参画社会をめざす大阪府の拠点施設。運営は財団法人大阪府男女共同参画推進財団が行っている。

女性情報とは

- ・女性の地位向上、女性問題解決の資源となる情報
- ・ジェンダーの視点で女性、男性に関わる諸問題を明らかにした情報
- ・男女の意識の変革や男女平等に向けての行動、政策化を促す情報

女性センター情報ライブラリーの特徴

- ・女性情報の専門図書館
- ・女性センターという総合施設の一部門
- ・資料の内容や形態の多様性

コレクション

- ・図書・・・37,777 冊
- ・行政資料・・・10,868 冊
- ・AV 資料・・・1,825 点
- ・逐次刊行物・・・1,478 タイトル 41,026 点
- ・新聞・・・6 紙
- ・ポスター・・・181 点
- ・パネル資料「女性に対する暴力」
- ・アーカイブ
 - 「日本ウーマンリブ史原資料」ビラ、ニューズレター、ポスターなど（約 900 点）
 - 「女たちの太平洋戦争・15 歳の手記」手書き原稿（約 3,000 点）

「竹中恵美子文庫」
「女性の表現作品集」

- ・データベース
所蔵資料データベース
人材情報データベース（非公開）
事業結果データベース

利用について

- ・非来館利用者（電話・メール）が増えている
- ・学校関係では教材と人材（講師）情報

【事例発表】

啓発講座学校教員のためのワークショップ男女共同参画の視点による教材づくり
～ 『地図でみる世界の女性』を活用して～

仁科あゆ美（ドーンセンター企画推進グループ）

講座趣旨

小中学校の教員が、ジェンダー統計を読み解き、男女共同参画の視点で授業や研修会等で活用できる教材を作成し、その実践のための教案を考える啓発講座の開催。

1986年にアメリカで出版された『The State of Woman in the World Atlas』の日本版『地図でみる世界の女性』（明石書店）をテキストとする。

ワークショップの実施にあたっては、当センター情報ライブラリーで資料等を収集、各種統計を活用する。

ドーンセンター及び情報ライブラリーが男女平等教育推進のための教材づくりや情報収集に役立つような学習・情報相談等の事業を実施し、さまざまな機能を持つことを学校教員に向けて広くPRする。

講師

高校教員、スクールカウンセラーと担当（仁科）でのワークショップ。

講座等を企画推進するときには、いつもライブラリーを活用している。事業チームの企画の段階から情報ライブラリーが関わり、連携が形になって現れている。

日頃から、学校関係者、行政関係者の利用が多く、これからもライブラリーを活用していただきたい。